

## 上川口小学校

『自ら学び豊かにかわり合いたくましく生きる児童の育成』  
 『アクティブに鍛える』

校長 石川 真紀

### ◆はじめに

本年度は、全校児童43人、教職員11人、6学級(複式学級1組を含む)編成で教育活動をスタートしました。本校の児童は、明るく真面目で穏やかで、休み時間も学年を越えて仲良く遊ぶ姿が見られます。毎朝8時前には、体育委員が大型タイムとCDデッキを準備し、全校ストレッツの後、朝マラソンが始まります。音楽に乗って自己タイムを少しでも縮めようと10周を一生懸命走っています。その後、一輪車を練習するので、1年生も全員が乗れるようになりました。

### ◆学校教育目標

本年度の学校教育目標は、「自ら学び豊かにかわり合いたくましく生きる児童の育成」副題を「アクティブに鍛える」としています。知・徳・体のバランスの取れた力を身につけ、変化の

激しいこれからの時代をアクティブにたくましく生き抜くことができる心身共に強い子に、また、人を大切にでき、思いやりのある優しい子に育てようと、教職員自身もまた、アクティブに日々頑張っています。

研究主題は、「自分の思いや考えを伝え、判断し行動できる児童の育成」とし、チーム上小は以下の4つのプロジェクトで研究を進めています。

- ①学力向上プロジェクト
- ②体力向上プロジェクト
- ③徳の向上プロジェクト
- ④命の教育プロジェクト

### ◆知を鍛える

6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査では、国語A(基礎力を問う)・全国比+5.2ポイント、国語B(活用力を問う)+9.5ポイント、算数A+11.4ポイント、算数B+18.1ポイントと良い結果で、安定した力がついていることがわかります。

ICT活用推進校として、児童がパソコンやタブレットを授業や色々な発表会、取材活動等に使用し、情報処理・活用能力を高めています。



算数授業 タブレットを使って

ユニバーサルデザインを展開しながら、主体的・対話的で深い学びを実現できる授業改革を進めています。

また、「いつでもどこでもみんなが読書」をスローガンにして、学力をつける土台となる読書活動を活発にし、読解力と豊かな感性を身につけるようにしています。

少数数のため、児童一人ひとりに目が届き、各自に合った指導を行えることが利点ですが、何ととっても学力向上には、基本的な生活習慣と家庭学習が大きく影響します。家庭とも連携を取りながら、毎日の声かけと愛情シャワーをお願いしています。

### ◆徳を鍛える

私たちは、「児童ファースト・子どもが主人公」を合言葉に、日常における児童

の実態把握と分析をしながら、各自の自尊感情を高め、集団全体が高まる学級経営を行っています。校内支援委員会を月1回以上実施し、SC、SSWと共により良い支援について考えます。人権教育参観日、道徳参観日、キャリア教育参観日には講師を招聘し講演会を開催するなどし、生き方について学びます。また、児童会を中心に自主的な活動として、あいさつ運動や全校レク、ありがとうの木、上川口小5か条など、仲間意識を高める取組をしています。

### ◆体を鍛える・命を育む

体力テストの結果から、柔軟性と投げる力に全体的な課題があるので、ジャックナイフストレッツの継続、投げる遊具の開発・使用をしています。朝マラソンなど日々の地道な体力作りと体育の授業の工夫・改善を進めています。

防災・安全教育では、浸水が予想される学校としての地震・津波避難訓練の時間帯や方法を変えながらの毎月の実施、近年危険が高まっている風水害の学習、年2回の防災教育参観日の実施(引き渡し訓練、隔年の

炊き出し訓練など、保護者・地域と共に行っています。

### ◆地域は生きた学びの場

開かれた学校づくりには、地域から28人の委員さんが参加し、学校支援のため様々な事に関して協議してくださいます。地域ボランティアによる授業や読み聞かせ、地域清掃活動への参加や発達段階に応じた地域学習や交流などで、ふるさとを愛する心を、今後もしっかりと育んでいきます。



地区交流 ご挨拶して肩たたき

### ◆ホームページのご案内

本校から発信する各種お便りや行事予定、授業風景、児童の様子などをパソコンやスマートフォンから見ていただけます。「黒潮町立上川口小学校」で検索するか、次のアドレスをご入力ください。  
<http://www.kamikawaguchi-e-town.kuroshio.lg.jp/>

# 大方中学校

「心豊かでたくましく意欲を持って学ぶ生徒を目指して」

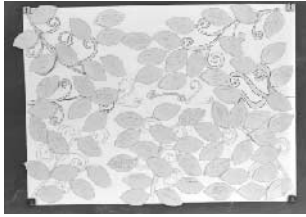
校長 久保 良高

## ◆はじめに

現在生徒数169人、教職員24人で落ち着いた環境の中で、意欲的に学ぶ生徒の育成を目指し、次のようなことを重点的に取り組んでいます。

## ◆一人ひとりの自尊感情を高める取組

教師が生徒一人ひとりの話にじっくり耳を傾け、生徒の良さに目を向け評価すると共に、生徒同士が互いの良さを認め合う『グッドシート』などの掲示をすることで、教師と生徒、生徒間の人間関係もよくなり、生徒の表情も穏やかで、落ち着いて学習ができる環境となっています。



グッドシート

## ◆生徒主体の行事の実施

生徒自身で作りに上げる学校行事を目標に、「体育祭」や「文化祭」に取り組む、生徒だけでなく、



体育祭  
保護者も感動  
できる  
学校行事  
事を作

り上げることができました。そのため地域からの高い評価も得ることができ、生徒も自信を持って生活できるまでとなっています。

## ◆主体的に学び、深く考え表現できる授業の実践

「探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業(学校図書館活用型)」の指定研究

### ①図書・新聞に触れる環境整備

学校図書館を含め、校内で図書に親しめる環境づくりのために各教室に『学級文庫』としておすすめの本20冊を入れ、朝読書や昼休みなどに利用できるようにしています。

また廊下や生徒玄関の空きスペースを活用し、生徒

の興味を引きそうな本や新聞を並べ、いつでも手にとって読むことができるようにしています。これは日頃図書室の利用が少ない生徒にも好評で、気が向いたらと



図書コーナー

きにはペ  
ージを  
めくる  
姿や座  
つて読  
みふけ  
る姿、  
つてい

友だちと一緒に読み合う姿も見られるようになってきました。

### ②各教科における課題解決的な授業実践

各教科においては、可能な限り生徒が課題解決できる授業を目指して取り組みを進めてきました。その手立てとして授業スタンダードを作成し、それに沿っての授業実践を進めることにしています。

授業改善を推進するため定期的に研究授業も行い、事前の教材研究を各教科の代表が集まり意見交換をし、授業づくりの研究を進めてきました。専門教科以外の教員の意見を聞くことによ

り、違った発想も得られ、有意義な授業研究をするこ

### ③総合的な学習の取組

探究的な学習は主に「総合的な学習の時間」での取組で実践してきました。本校の総合的な学習の時間は地域を題材とした取り組みを行っています。

1年生では町内での情報収集やフィールドワークを通して、地域の課題を中心に探ることを重点的に取り組んでいます。

2年生では修学旅行で観光客から得た情報や地域への移住者の方から得た情報、地域の主な事業主、地域住民などの意見を収集・分析し、それらの意見をまとめると共に、自分たちの描く未来の黒潮町を企画案としてまとめ、町に提言してきました。

3年生ではそれらの提言の中から、自分たちが実際に地域に貢献できるものを選択し、そのプランをより充実したものにするための議論を重ねてきました。その一方で、地域の各職場に出向き、各職場がどのよう

に地域の発展に寄与しているのかを体験を通して学ぶことを中心課題として取り組んできました。



地域に学ぶ...

このよ  
うに自  
分たち  
の地域  
をより  
良いも  
のにする  
ため

## ◆終わりに

これまで取り組んできた、生徒の自尊感情を育てることを生徒指導の基本とし、全ての生徒に今求められている「知識・技能、思考力・判断力・表現力そして学びに向かう力や人間性を養うこと」に力を注いでいきます。幸い今年度行われた学力調査等では各学年共にほぼ全国平均の学力が定着していることが分かりました。今後も確かな学力を身につけた、将来の黒潮町を担うことのできる人材の育成に取り組んでいきたいと考えています。